

ミカン生育情報

千葉県
平成 22 年 10 月号

平成 22 年 9 月の気象

平均気温は、第 6 半旬は平年より 0.7 低く、他の 5 半旬は平年より 3.4~0.7 高かった。月平均気温は 24.6 で平年の 23.1 より 1.5 高かった。

降水量は第 1、3、4 半旬では平年より少なく、他の 3 半旬は平年より多かった。特に第 6 半旬は平年の約 3.5 倍であった。月合計は 268mm で平年より 52mm (24%) 多かった。

日照時間は、第 1~5 半旬は平年より多く、第 6 半旬は平年以下であった。月合計は 198 時間で平年より 52 時間 (36%) 多かった。

表 1 平成 22 年 9 月の気象 (館山測候所)

半旬	平均気温		降水量 mm		日照時間 hr	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	28.5	25.1	0	27	52	31
2	26.4	24.5	35	32	29	28
3	26.6	23.7	2	35	40	25
4	23.8	22.7	27	38	35	22
5	22.4	21.7	52	41	31	20
6	20.2	20.9	154	43	11	20
平均/合計	24.6	23.1	268	216	198	146

生理障害、病害虫の発生

高温の影響で 8 月下旬から果実に日焼けの発生がみられ、9 月下旬以降に裂果の発生が認められる。

これまでの巡回調査でかいよう病、黒点病の発生が平年よりやや多く、ミカンハダニ、アブラムシ類、ミカンハモグリガの寄生葉率が平年より高かった。

果実及び樹の生育

本年度の温州みかんの着果量は園地や樹によるバラツキが大きく、早生温州の着果量が少ない傾向が見られた。

果実の生育を各調査地の平均値で見ると、早生温州は横径・縦径の平年比がそれぞれ 103、112%、普通温州はそれぞれ 101、108%と平年を上回っており、川野夏柑は、それぞれ 97、102%と平年並である。

表2 果実の生育（平成22年9月30日）

品種	調査地	横径 (cm)		縦径 (cm)	
興津早生	三 芳	6.3	(104)	5.6	(116)
	千 倉	5.8	(98)	5.1	(107)
	暖地園研	6.4	(106)	5.5	(114)
大津4号	三 芳	6.3	(101)	5.2	(111)
	千 倉	6.0	(94)	4.7	(99)
	暖地園研	6.9	(109)	5.3	(111)
青島温州	三 芳	6.1	(98)	5.0	(104)
	千 倉	6.2	(99)	5.2	(111)
	暖地園研	6.6	(107)	5.2	(109)
川野夏柑	暖地園研	7.7	(97)	6.7	(102)
早生温州（平均値）*		6.2	(103)	5.4	(112)
普通温州（平均値）		6.3	(101)	5.1	(108)

（ ）の数字は平年値（平成6～21年の平均）を100とした比数

* 早生温州：興津早生3調査地の平均

普通温州：大津4号、青島温州3調査地の平均

9～10月の栽培管理

浮皮症の軽減対策 収穫期に過湿条件であると浮皮症が発生しやすいので、防風垣を刈り込んで通風を良くし、排水対策を講じて園地の乾燥に努める。

樹上選果 収穫直前まで園地を見回り、小玉果、傷果、病害虫被害果などの商品性が劣る果実を摘果する。

早生温州の収穫 着色の良好な果実から順次収穫していく。収穫時のハサミ傷や落果は収穫果実の腐敗の大きな要因となるため、果実はていねいに扱う。収穫直後の果実は果皮の水分が多いので出荷予措を行う。コンテナに果実を7分目ほど入れ、風通しのいい日陰に2～3日置くと、果皮がしなやかになり、選果や出荷時の傷果の発生予防になる。

秋肥 早生温州では11月上旬、普通温州では11月中旬に、ともに窒素、リン酸、カリをそれぞれ10a当たり分量で6、4、6kg追肥する。施肥時期が早すぎると着色の遅れや浮皮果が生じ、遅くなると低温となるため吸収が悪くなる。また、乾燥の影響で樹勢が落ちた樹は、収穫後直ちに窒素主体の液肥を葉面散布して樹勢の回復を図る。

病害虫の防除 10月中旬～11月上旬には、貯蔵病害である青かび病、緑かび病の防除を行う。ミカンハダニやカメムシ類は発生に応じて防除を行うが、農薬の使用基準にある収穫前日数に注意し、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所果樹・環境研究室（電話0470-22-2961）
果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産者向け情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>